

令和2年度 総合教育会議

# 『地域道徳』について



- ◆ 『地域とともにある学校づくり』について
- ◆ 『地域道徳』について
  - ・ 導入の経過
  - ・ 今年度の取り組み
  - ・ 次年度以降の取り組み

# 社会的課題

◆ 地域社会では・・・

新型コロナウイルス感染症、**少子化**、**高齢化**、  
過疎化、人口集中、第一次産業の衰退、後継  
者不足、貧困、グローバル化、etc

◆ 学校現場では・・・

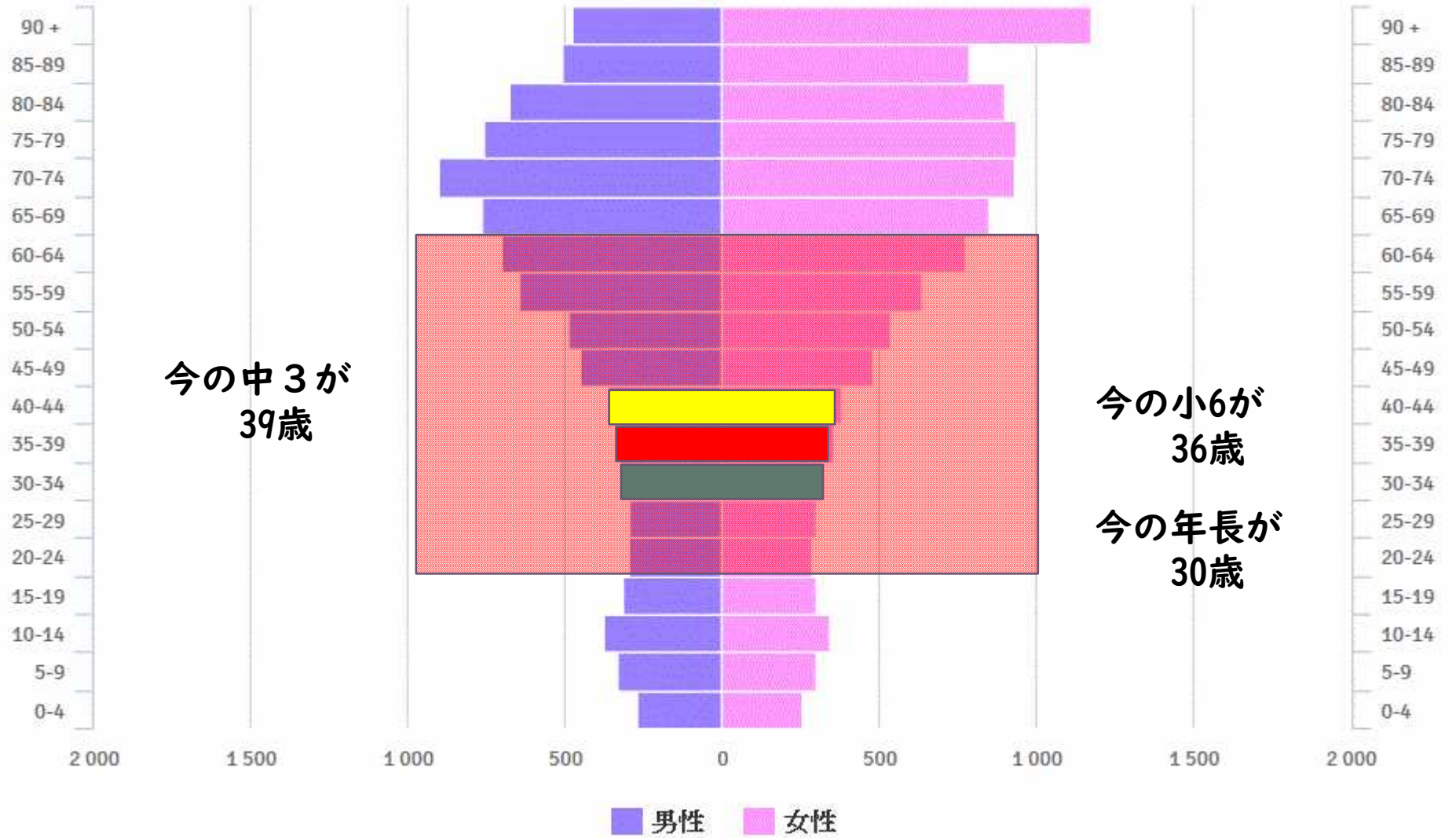
**臨時休校**、いじめ、不登校、自死、体験・  
経験不足、体力低下、ネグレクト、DV、  
孤食、、、etc

⇒特に少子・高齢化の現状について

# 南丹市の人口ピラミッド 2045年



出典: 国勢調査を独自集計、「日本の地域別将来推計人口（平成30(2018)年3月推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）



今の中3が  
39歳

今の小6が  
36歳

今の年長が  
30歳

⇒課題解決に向けて国は？

# 学習指導要領改訂の方向性

新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実

学びを人生や社会に生かそうとする  
学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる  
思考力・判断力・表現力等の育成

何ができるところになるか

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、  
社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む

**「社会に開かれた教育課程」**の実現

各学校における**「カリキュラム・マネジメント」**の実現

新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた  
教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

小学校の外国語教育の教科化、高校の新科目「公共」の新設など

各教科等で育む資質・能力を明確化し、目標や内容を構造的に示す

**学習内容の削減は行わない。**

主体的・対話的で深い学び（「アクティブ・ラーニング」）の視点からの学習過程の改善

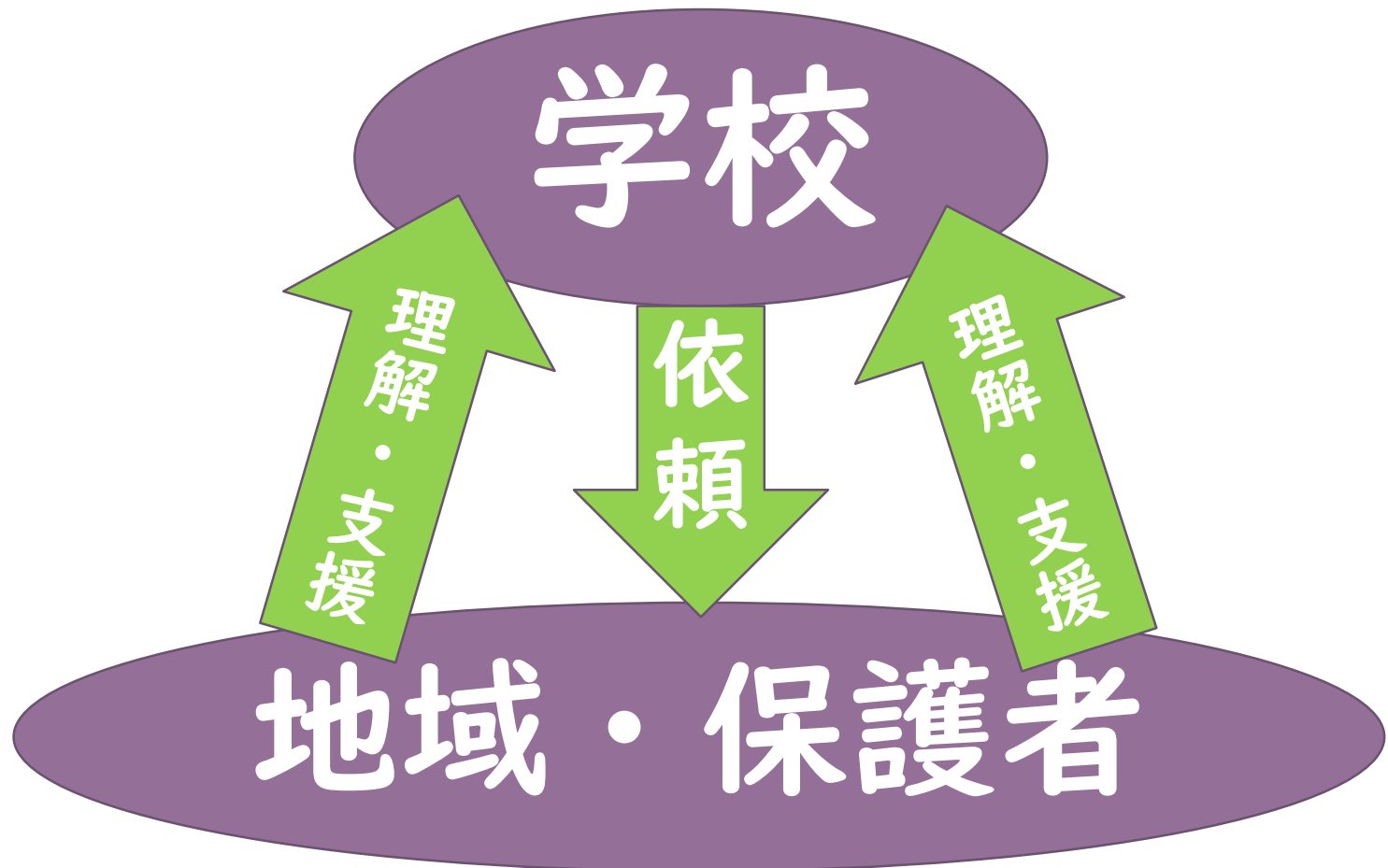
生きて働く知識・技能の習得など、新しい時代に求められる資質・能力を育成

知識の量を削減せず、質の高い理解を図るための学習過程の質的改善



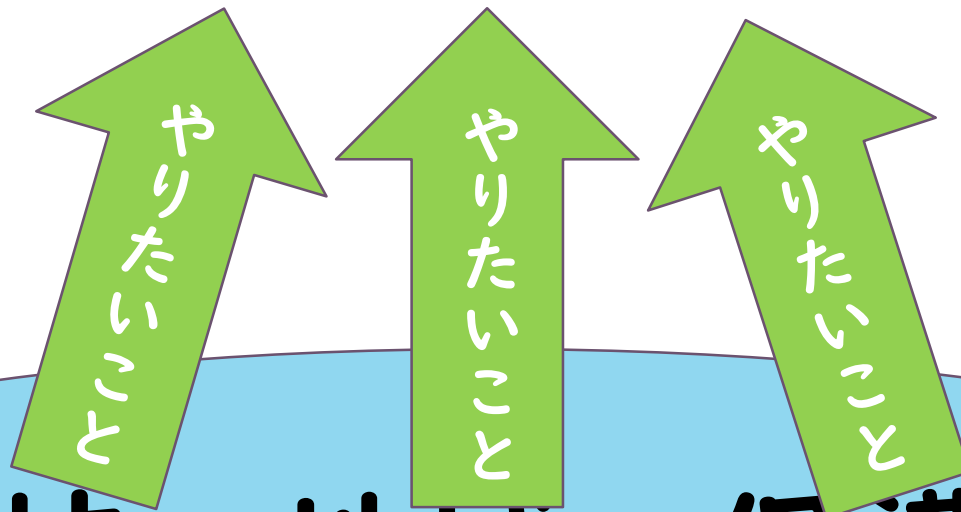
⇒ツールとしてのCS

## 今までの学校と地域の関係



# コミュニティ・スクールが目指すもの

これからの学校と地域の関係



学校・地域・保護者

⇒熟議の意義について

# 「熟議」開催のねらい

- ① 地域、家庭、学校が、一緒に子どもを育てていこう、という目標を共有し、機運を高める。
- ② 協働の取り組み(地域学校協働活動)の実施に向けて、具体的方策について協議し、当事者意識を高める。

⇒本市の道徳的課題は？



# RI 全国学力・学習状況調査質問紙 (%)

規範意識、道徳的心情は、育っている。

	南丹市 小6	京都府 小6	全国 小6	南丹市 中3	京都府 中3	全国 中3
人の役に立つ人間になりたい	80.3	76.4	74.7	81.0	69.6	71.1
いじめは、どんなことがあってもいけない	90.2	86.6	85.0	92.5	78.8	78.3
人が困っているときは、進んで助けている	50.4	37.8	40.4	43.5	28.0	34.6

道徳的行為・行動力に課題がある

⇒課題の背景には？

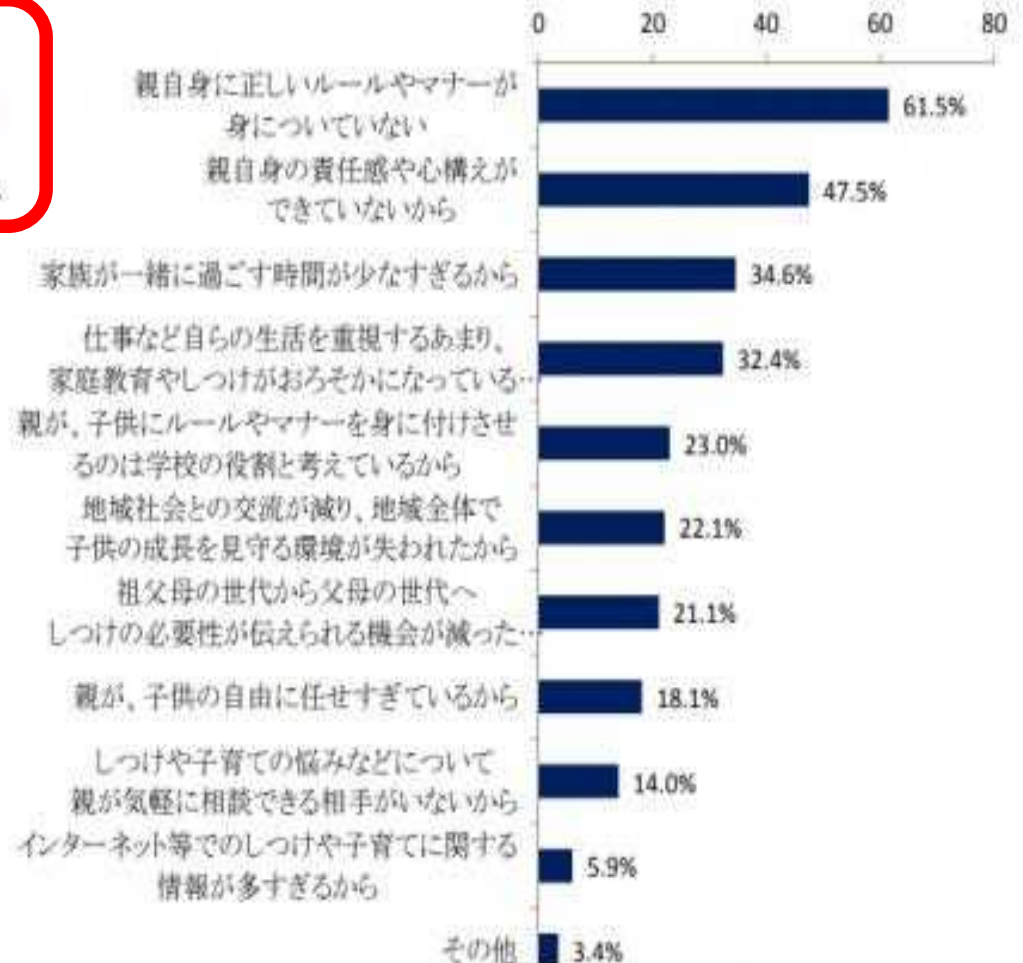
# 小・中学校「特別の教科 道徳」の実施の背景③

## 子供をとりまく地域や家庭の変化

守られていないルールやマナーについて(%)

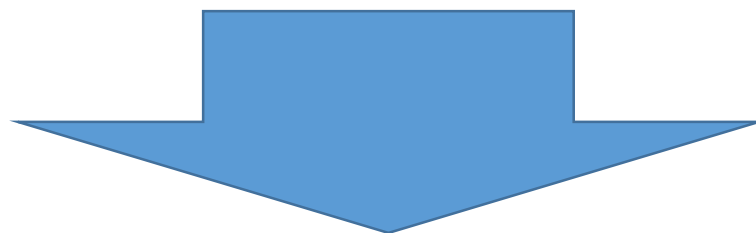


「家庭の教育力」が低下した理由(%)



⇒課題解決のため、本市の特徴は？

南丹市は地域の教育力が高い。  
大人同士もよい関係をつくらうとしている。  
地域は学校に対して協力的である。  
地域が子どもを大切にしようとしている。

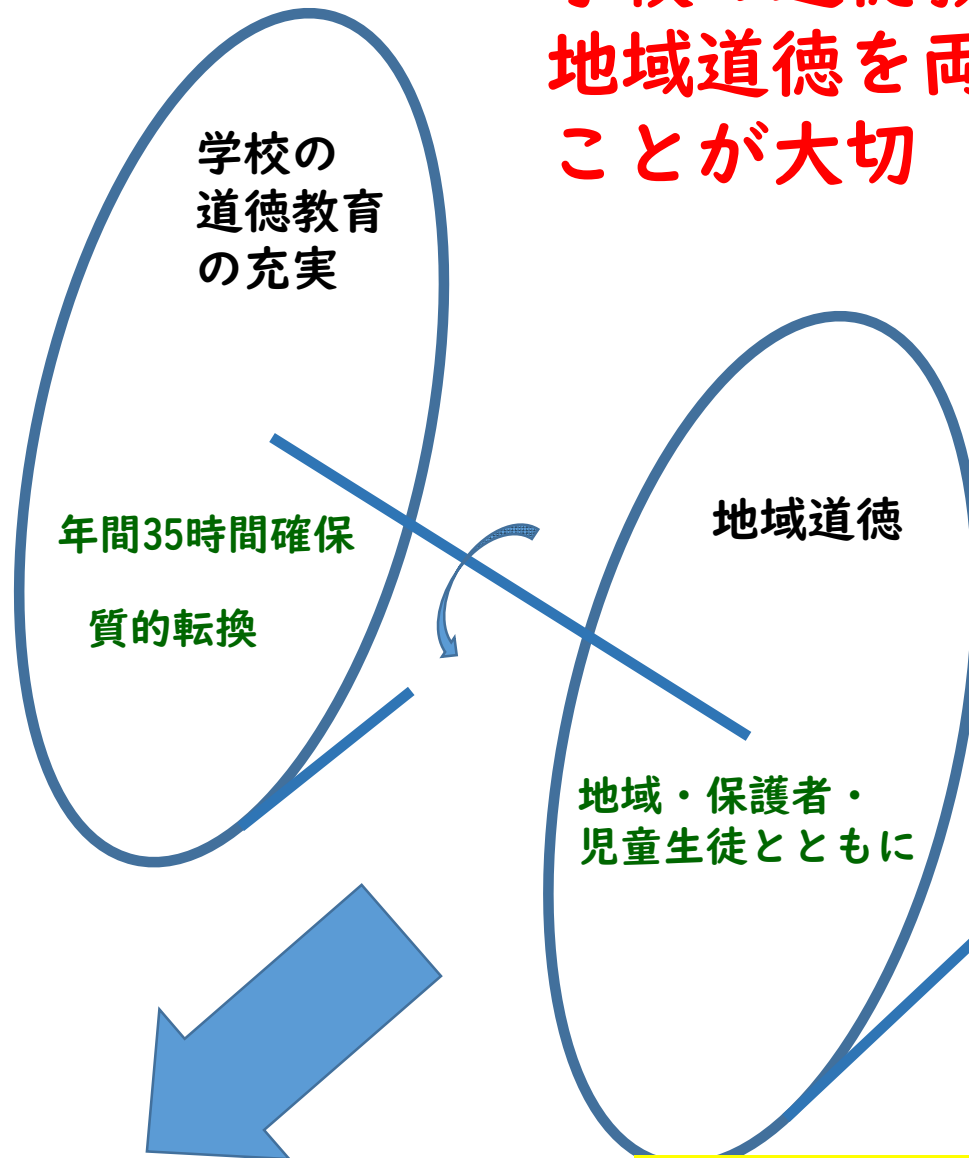


地域・保護者の方と一緒に道徳を

= 地域道徳

⇒どのように取り組むのか？

# 学校の道徳教育の充実と 地域道徳を両輪で進める ことが大切



⇒まず、学校現場では？

# 学校の道徳教育の充実

- ① 「考え議論する道徳」を実践
- ② 道徳の授業のあり方を改革する

⇒次に地域や家庭では？

# 地域道徳の取組

地域・家庭

学校



共有

実態・課題  
目指す子ども像

熟議

どのような取り組みをして地域総がかり  
で児童生徒の道徳性を育てていくか

地域学校協働活動も活用し、  
「各校で地域道徳の取組」を実践

⇒文部科学省事業を活用

## 八木中ブロックを**推進地域に指定**

### 【指定理由】

- ・前年度まで「心のバリアフリー」で文部科学省より八木中ブロックが指定を受けており、ブロック内の幼小中の連携ができている。
- ・過去2年間八木中ブロック校種間連携推進協議会として小学校が特別の教科道徳を先行実施になっていたことから、道徳を研究してきた。

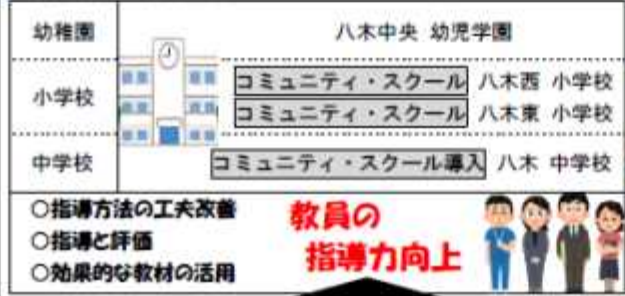
⇒地域道徳事業の全体構想

# 道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業

H30・H31  
八木ブロック校種間連携  
推進協議会  
〇9年間を見通した道徳科  
指導カリキュラムの作成・  
改善と授業実践

## 推進地域【八木地域】

### 研究推進校園【八木中学校ブロック】



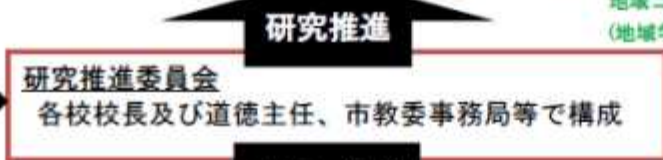
学校運営協議会等における熟議を通じた「目指す子ども像の共有」



### 各PTA・地域の方々

- 「**地域道徳**」の取り組み実践
- 〇道徳科の授業公開
  - 〇PTAとの合同道徳
  - 〇地域のゲストティーチャーの招聘
  - 〇道徳講演会

地域ぐるみで  
道徳性を育成

- 事業推進協議会**  
●スーパーバイザー
- <南丹市>  
●南丹市教育委員会  
●各推進校校長
- <京都府>  
●京都府教育委員会  
●京都府総合教育センター  
●京都府南丹教育局

## 南丹市主催：道徳教育研究実践成果報告会 (令和3年2月22日)

**府教委主催：道徳教育パワーアップ研究協議会**

目的：新学習指導要領の趣旨の京都府内の共有・普及を図る  
・「考え、議論する道徳」への質的転換に係る課題への対応  
・年間35時間を見通した教科書の活用による指導と評価

センター研修講座  
1/12 (予定)「道徳科の授業講座」  
11/6 (予定)「特別支援教育の視点を踏まえた道徳教育講座」



⇒具体的な方針は？



# 南丹市地域道徳 3年間指標

南丹市教育委員会学校教育課作成 (R2.9)

令和2年度	令和3年度	令和4年度
導入期	充実期	発展期
<p>キックオフ研修会で同じ意識を持つ (実施済) 7/1</p> <hr/> <p>学校運営協議会で育てたい子ども像の共有化 (実施中) 7月～</p> <hr/> <p>熟議のテーマに「道徳」の視点を入れる (実施中)</p> <hr/> <p>学校運営協議会委員に授業を公開し、学校での道徳指導を共有する。</p> <p>11/4八木中、11/10八木西小、11/11八木東小</p> <hr/> <p>&lt;年末までの運営協で&gt;</p> <p>今、地域や学校で取り組んでいることのねらいと道徳のねらいとを関連付け (再認識) する</p> <hr/> <p>&lt;年度末までの運営協で&gt;</p> <p>○目指すところ (道徳性の備わった目指す子ども像、その実現に向けた方針等) を次年度の学校教育目標に位置づける。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>3者で現状と目指す子ども像を共有する</b> (学校・家庭・地域)</p> </div> <div style="text-align: center; margin: 5px 0;">↓</div> <p>次年度のグランドデザインに <span style="border: 1px solid green; padding: 2px;">全ブロックで実施</span></p> <p>【学校目標に (明確に) 反映させる】</p> <p>次年度早々に取り組むためには、今年度中に道徳のカリキュラムについて地域連携担当教職員を中心に精査し、どの時期、どの教材で地域と一緒に取り組めるのか見通しを持っておく。それを地域学校協働活動推進員と調整しておけば、次年度スムーズなスタートができる。</p>	<p>○道徳の授業に地域・保護者が参画する。 (1学期から)</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">親 子 道 徳</div> <div style="flex-grow: 1;"> <p>運営協から取り組みを提起</p> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 5px 0;">全ブロックで同時進行</div> <p>↓</p> <p>打ち合わせ (事前研)</p> <p>↓</p> <p>授業</p> <p>↓</p> <p>振り返り</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>必ず同じメンバーで実施できるように調整する (例：地域学校協働活動推進員、地域連携担当教職員、担任、地域の方、保護者)</p> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">↓</div> <p>※協働の成功感覚を体験する。</p> <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>3者で成功体験を重ねる</p> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">↓</div> <p>「やってよかった」 「次はこうしたい」などの思いが児童生徒、地域、保護者、学校教職員に生まれ、次の動きにつながるようにコーディネートする。</p> <div style="border: 1px solid green; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>地域道徳の定着に向けて、学校運営協議会の具体的な取組を進める。 例：「あかんもんはあかん」(朱雀中の取組)</p> </div> <p>共有化した子ども像を地域へ広げる。 地域の関係団体、自治会との連携を視野に入れて計画を立てていく。</p>	<p>○コミュニティ・スクールとともに、地域道徳の定着を図る。</p> <p>・導入期・充実期のサイクルを繰り返し、今後も持続できるための仕組みや体制基盤を整える。</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">↓</div> <div style="border: 1px solid red; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>地域の取組を地域の関係団体 (青少協、商工会、民生委員、老人会等) との共有化へ 地域団体 + 学校運営協議会とコラボして、子どもの具体像を示し広げていく。</p> </div> <div style="border: 1px solid green; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>地域住民を取り入れた取組 (ブロックで) ・研究発表会・シンポジウム・パネルディスカッションなどを実施。</p> </div> <p>家庭や地域社会の教育力 (地域道徳) が地域住民に浸透していく。</p> <p>◎この取組は、PDCAサイクルで改良されつつ、令和4年度以降も持続されていくことをイメージする。</p> <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>地域力 (教育力) 向上の風土醸成</p> </div> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>家庭・地域の具体的目標の作成</p> </div> <div style="border: 1px solid red; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>さらに自治会等とも連携を拡げていく</p> </div>

⇒令和2年度の取り組みは？

# 令和2年度（導入期）

Ⅰ キックオフ研修会 令和2年7月1日（水） iスタやぎ

京都産業大学 柴原 弘志 教授

講演

「地域とともに進める人間性を育む道德教育」

ねらい：この事業を進めていくにあたり、  
今後の方向性を共有するとともに  
研修を深める

参加人数

南丹市 保・幼・小・中学校教員	68名
学校運営協議会委員	27名
京都府教育委員会	6名
南丹市教育委員会	7名
	108名



## 2 道徳公開授業並びに全体研究会

令和2年11月4日（水） 八木中学校道徳公開授業



「ようこそ『やねせん』へ」

短冊に、よいと思うこと、  
残しておきたいと思うこと  
を一つだけ書きます。

学校運営協議会の方に協力依頼し、制作された八木町の絶景スポットのスライドショー

## 2 道徳公開授業

令和2年11月10日（火） 八木西小学校6年道徳公開授業



「ようこそ菅島へ！」

「八木のよさにはどんなものがありますか？」という導入

最後にビデオで八木さんが城山について、中川さんが八木町の観光について説明され、全員で視聴した。

令和2年11月11日（水） 八木東小学校道徳公開授業



「1本のバナナ」  
投げ入れの人権教材

「なぜ、ダニエウ選手に  
バナナが投げ込まれたの  
だろうか。」

12才の君たちが20才になっ  
たとき、差別することはい  
けないと言えるか、放って  
おく人間のままでよいか

令和2年11月11日（水） 八木中学校ブロック全体研究会

口丹波勤労者福祉会館



- 3つの公開授業の事後研究会
- 柴原先生の講演  
キックオフ研修会の続き

# 学校運営協議会による熟議

どのような子ども達に育ててほしいか具体像を共有する。



道徳性の備わった目指す子ども像を共有し、その実現に向けた方針などを熟議した。

### 3 令和3年2月22日（火） 道徳教育成果報告会 iスタやぎ

☰ YouTube JP

検索



道徳教育成果報告会(続編)

🔒 限定公開

⇒令和3年度「充実期」



# 令和3年度（充実期）

○道徳の授業に地域・保護者が参画する。

- 地域・家庭の実態に基づいた道徳授業の実現
- 道徳の授業づくりに参画⇒道徳の授業が自分事に
- 家庭での生活に道徳的視点を

参加者個々の学びを地域・家庭全体の学びへ



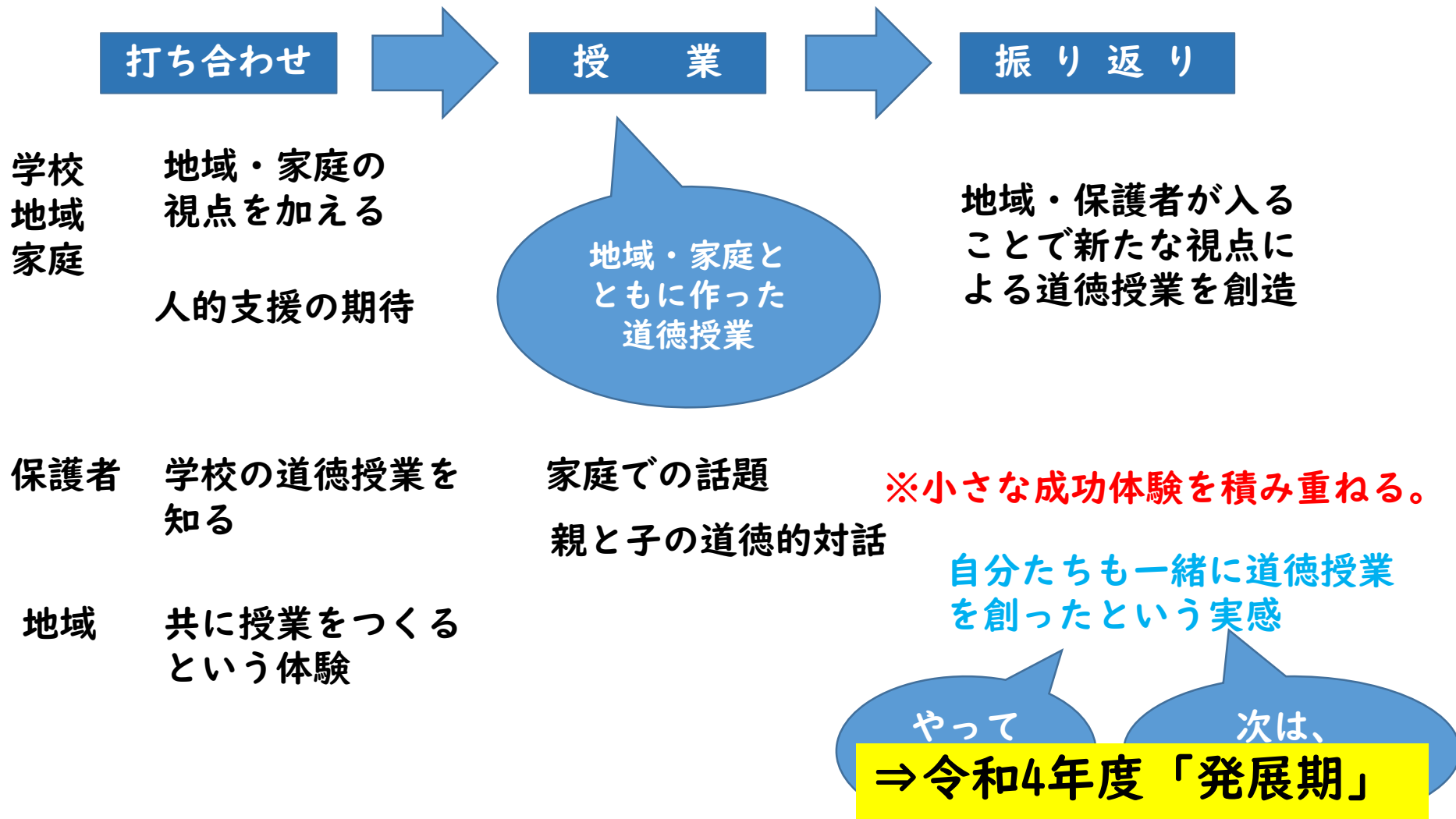
学校運営協議会で方針を決定

地域学校協働活動で具体的な取組を

例：八木ブロック「あいさつ+メッセージ」

# 令和3年度（充実期）

○道徳の授業に地域・保護者が参画する。



# 令和4年度（発展期）

## ○コミュニティ・スクールとともに、 地域道徳の定着を図る。

・導入期・充実期のサイクルを繰り返し、今後も持続できるための仕組みや体制基盤を整える。

※地域の取組を地域の関係団体（青少協、商工会、民生委員、老人会等）との共有化へ

※地域団体＋学校運営協議会とコラボして、具体的な「目指す子ども像」を示し広げていく。

※教育委員会＋市長部局のさらなる連携・協働体制を築く

### 地域住民を取り入れた取組（ブロックで）

・研究発表会・シンポジウム・パネルディスカッションなどを実施予定

◎この取組は、PDCAサイクルで改良されつつ、令和5年度以降も持続されていくことをイメージする。

次代を担う子どもたちを育てるために

